

北海道議会議員選挙選挙公報 (旭川市選挙区)

北海道選挙管理委員会

北海道・旭川の皆様のために、全力で働きます!

- ・ 自民党でも、NO! と言える政治家に
- ・ 最優先は景気回復! 生活不安の解消
- ・ 日本で誇れる、旭川大雪圏(旭川近隣1市8町)連携を!
- ・ ライフラインを守る! 日本一の除排雪体制を
- ・ どこへでも駆けつける、行動第一主義!



はやし ゆたく
林祐作
自民党公認

北海道の新しい景色を **旭川から切り拓く!** 最年少 **34** 歳だからできる!

大軍拡増税 NO!

政務活動費はネット公開へ
質問5日連続トピック in旭川

真下紀子 プロフィール

- ・ 1956年十勝管内豊川町生
- ・ 柳広三栄高校、北大進学卒業
- ・ 旭川大病院、のびろ保育園、豊岡小児クリニックで看護師
- ・ 2003年から道議会議員5期
- ・ 趣味 読書、落語鑑賞、ホットヨガ

SNSで発信中



困難のりこえ ともに生きる

- ◆ ジェンダー平等社会へ、男女の賃金格差差正
- ◆ STOP! 医療介護負担増 命を守る地域医療を
- ◆ 物価・電気料金高騰に緊急支援を
- ◆ 中小企業への支援と最低賃金引上げ
- ◆ 子ども医療費は高校卒業まで無料へ
- ◆ 学校給食費の無償化、就学援助の拡充を
- ◆ 選択できるお産、助産所を含む周産期医療を
- ◆ 障害者の権利守り、共生社会へ
- ◆ 高齢者の補聴器購入に助成を
- ◆ 食料自給率向上へ北海道農業を支えます
- ◆ 原発・核ごみノー! 再エネ推進で
- ◆ 憲法活かし、戦争する国にしない
- ◆ 統協会と政治の癒着掃、被選挙権復活

真下紀子はめざします
一人ひとりが大切に人権ももてる社会へ

みなさんと実現

- すすんだ! 校則見直し
- 道立学校に 生理用品!
- ☆ コロナ病床・宿泊療養施設を確保
- ☆ 市立旭川病院感染症病棟の改修
- ☆ 一部活帰りの高校生に代替バス
- ☆ パワハラ調査・対策すすめる
- ☆ 同性パートナー道営住宅入居
- ☆ 一乗通・旭川駅前タクシー乗場改修
- ☆ 追及! 談合・天下り、統一協会
- ☆ いじめ問題での道教委の責任も検証、対策強化

コロナ禍であらわになった生きづらさは政治の責任。私は、平和を引き継ぎ、命と暮らし、子どもの未来を応援します。ジェンダー平等と気候危機対策など、未来を拓く新しい政治へ力を尽くします。



ましたのりこ
真下紀子
日本共産党公認

北海道の地域資源を活かして **稼ぐ**

- ◆ 持続可能な食料システムの構築
- ◆ 農水産業をベースとした食の総合産業化
- ◆ 自然環境を活かしたアドベンチャーレベルの推進

北海道の未来を担う人材を **育てる**

- ◆ スタートアップ支援とインキュベーター機能の更なる強化
- ◆ ノブコリやIT・デジタル産業などの専門人材育成
- ◆ デザイン的思考など新たな価値の創造に資する人材の育成

新時代を見据えた社会的変革の土台を **創る**

- ◆ 官民連携による新しいビジネスモデルの創出
- ◆ 大都市圏からの人仕事と地元の誘致促進
- ◆ IT関連企業の研究開発拠点の誘致

持続可能な北海道づくりに向け点を **つなぐ**

- ◆ 医療と介護が連携した地域包括ケアシステムの構築
- ◆ 観光・物流に重要な役割を担う公共交通体系の再構築
- ◆ 広域的視点での老朽化した公共インフラの維持管理・更新

北海道職員7年半の経験 **道庁出身! 46才**

昭和 51年	7月14日 出生
平成 元年	神楽小学校 卒業
平成 4年	神楽中学校 卒業
平成 7年	旭川東高等学校 卒業
平成 12年	北海道大学 卒業
平成 15年	北海道職員 採用
平成 21年	自民党HOKKAIDO政治塾 修業
平成 23年	旭川市議会議員 当選(1期目) 建設公営企業常任委員会 副委員長
平成 27年	旭川市議会議員 当選(2期目) 総務常任委員会 委員長 議会運営委員会 副委員長
平成 31年	旭川市議会議員 当選(3期目) 議会運営委員会 委員長



自由民主党公認
木下まさゆき

道政へどつながり、道先案内人

北海道の職員だったからこそ、道政の仕組みや仕事の流れがわかり対応力が違う。旭川市議会議員だったからこそ、旭川市の長所や短所がよくわかり、なにをすればこの地域の活性化につながるかを知る。みなさまの想いを道政へつなぐ。その、つなぎ役として存分に能力を発揮するのが木下まさゆきです。

あなたらしく
As you,
わたしらしく
As me.
わたしらしく
~ 変わらない思い ~

安住太伸 略歴
旭川生まれ、旭川育ち
1970(昭和45)年4月1日生まれ
新町小、神原中、旭川東高、旭川大法科卒
北大に転校し、旭川大経済学を修了
新日鐵本社、日本経済研究センター派遣、
新日鐵八幡製鐵所、平成10年帰郷
11年~旭川市議3期、同27年~道議2期
「なぜ成る なぜなほ成らぬ何事も成らぬはの為此なりけり」
http://www.az3.net/

どこまでも真つすぐに愛する郷土旭川と次へ、そのまた次の未来のために! 疲弊していく故郷を何とかしたい。積み上げてきた24年間のすべてが、28歳の決断から変わらぬ思いのまま、安住そのものです。

旭川を北海道元氣創造のど真ん中へ!と変える[3つの挑戦]

- 挑戦1** 外からお金を呼び込み、逃がさない!
所得水準の低い地域で豊かになるには、お金を持っていく市外・道外には、このままではお金を使ってもらえず、自ら雇った仕事を創出し、増やしていけるような「自立する若者を生み出し続ける挑戦」が必要。
- 挑戦2** 働く場は、自ら創り出し、増やす!
若者に「やりたい仕事がない」と言われる地域で若者をどま、外から呼び込むには、彼らの意欲や取組を地域を挙げて応援し、自ら雇った仕事を創出し、増やしていけるような「自立する若者を生み出し続ける挑戦」が必要。
- 挑戦3** 世のため人のためにこそ、稼ぎ、使う!
企業が稼ぎ続ける地域となるには、その価値や意義を広く内外に知ってもらう「この企業を応援したい」との思いを育て、世界中からの「投資」を集めて、得られた「稼ぎ」がその価値に再投資される社会への挑戦が必要。
- 道立食品加工研究所を誘致し、旭川産1次産品の価値を高めます。
- 北海道ATWS開催を通じて旭川を体験型・潜在型・富裕層向け観光の拠点にします。
- 旭川「夢・未来」基金を設置し、若者の起業や留学を支援します。
- 道立高校の魅力を本州有名私立校以上に高める改革を推進します。
- 旭川版ESG投資の道モデル事業を創り、社会に貢献する事業や企業を増やします。
- 道・市連携による公募型社会起業への支援を通じて、地域の課題を解決する事業や企業を増やします。



あずみ
安住太伸
たかのぶ
自民党公認

※この選挙公報は、候補者から提出のあった掲載文を原文のまま印刷したものです。

北海道議会議員選挙選挙公報 (旭川市選挙区)

北海道選挙管理委員会

私の決意

皆様からのご支援ご支持をいただき、北海道議員としての活動をスタートして、今年度より迎える4月1日、旭川市は光熱費などの急激な物価上昇により、各家庭が苦境に陥り、生活が成り立たない状況が深刻化しています。旭川市は光熱費などの急激な物価上昇により、各家庭が苦境に陥り、生活が成り立たない状況が深刻化しています。旭川市は光熱費などの急激な物価上昇により、各家庭が苦境に陥り、生活が成り立たない状況が深刻化しています。

社会民主党北海道連合 推薦

- 立憲民主 北海道旭川支部 副代表
立憲民主 旭川支部 代表
- 1969年 札幌市生まれ
1988年 北海道立旭川高等学校卒業、北海道職員として旭川建設管理課(旧旭川土木現業所)に入職、建設行政に30年間従事
2019年 北海道議会議員 初当選
家族: 妻子2人(長男は独立)

松本将門がめざす「旭川・北海道」

旭川と共に歩む道



立憲民主党公認

松本まさかど 将門

<h3>経済・雇用</h3> <p>一次産業とものづくりを大切に、額に汗して働く者が活気に満ちた「旭川・北海道」</p> <ul style="list-style-type: none"> ● コロナ禍と物価高騰で苦境に陥る企業・団体などへの支援強化。働く者の賃金引き上げ、派遣改善などに取り組む。 ● 担い手不足の解消、技術継承・習得のための環境整備に努め、農業生産をほむとす。第1次産業やものづくりを大切にしたい。基盤づくりに取り組む。 ● 札幌一帯で発生している観光客の減少による旭川に若者が定着できる産業を育成し、雇用の確立・創出をめざします。 	<h3>まちづくり・福祉</h3> <p>バリアフリーでお互いが尊重・協働する「旭川・北海道」</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 少子高齢者社会を見据え、医療・介護・福祉の再構築をはかり、誰もが安心して暮らせる社会をめざします。 ● あらゆる差別や偏見をなくし、お互いの個性や人権を尊重し合い、信頼協働することのできるバリアフリーな社会をめざします。 ● 道民の生命と暮らしを守るため、災害に強いまちづくり、社会資本や地方交通網の維持・整備に取り組めます。
<h3>教育・子育て</h3> <p>安全・安心な社会、子育てしやすい「旭川・北海道」</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 子どもたちの可能性を最大限に伸ばし、子育てを支援するため、経済的負担の軽減や安心して暮らせることができる社会をめざします。 ● 地域、いじめ、貧困、犯罪などから子どもたちを守り、安心して暮らせる社会をめざします。 	<h3>平和・環境</h3> <p>平和で明るい未来がある「旭川・北海道」</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 憲法9条を堅持し、基本的人権や国民主権の尊重を並び、子どもたちに明るい未来を引き継ぎます。 ● 持続可能な社会をめざし、自然環境の保全・地球温暖化対策の推進に努めます。 ● 原子力発電所の再稼働に反対し、国の責任で減速するよう求め、核ゴミは受け入れ難いとした道条例を遵守した対応をめざします。

行動一番。女性の声を道政に

宮崎アカネの地川へ

プロフィール

1972年 旭川市東区生まれ
1985年 旭川市立立雲小学校卒業
1988年 旭川市立立雲中学校卒業
1991年 旭川龍谷高等学校卒業
1997年 旭川大学短期大学部卒業
1997年 富良野農業高校 家庭科講師
2007年～2013年 日本生命旭川支社
2013年～2019年 東川町野分地区
2019年 旭川市議会議員に初当選
経済文教常任委員会 副委員長に就任
2021年 北海道議会議員選挙立候補
2021年 北海道議会議員 当選

- 子育てに必要なサポート体制・政策の推進
- 地域共生社会「子ども・高齢者・障がい者」などすべての人が生きがいを共に、安心した社会をめざします。
- 農業者や除雪重機等の人材不足対策の推進
- 物価高騰とくらしを守るのは政策です。家計を切り盛りしている立場の声をさらに求めます。
- アフターコロナ対策と後遺症への対応
- 介護予防に向けた取り組みの推進

宮崎アカネは全力を尽くします



立憲民主党公認

宮崎アカネ

あなたの暮らしをてらします!

寺島のぶひさプロフィール

昭和40年～旭川生まれ(59歳)
昭和52年～旭川市立大野小学校卒業
昭和55年～旭川市立立雲中学校卒業
昭和58年～北海道立旭川高等学校卒業
昭和62年～創価大学 経営学部経営学専攻卒業、東京株式会社に入社
平成22年～10ビルムーンビル大規模改装、アール旭川プロジェクトを立ち上げ、テナント誘致に成功
平成31年～4月、北海道議会議員に初当選

寺島のぶひさ LINEはコチラから

寺島のぶひさ

公明党公認

国とのネットワークで寺島のぶひさが実現しました!

寺島のぶひさが挑戦します!

長引く物価高騰への対策!

- 標準家庭で計4.5万円(月5,000円)、電気・ガス料金の負担緩和を実現!
- 燃油費高騰と戦うトラック事業者に1台あたり2.7万円の支援を実現!
- 公明党旭川市議団との連携で、市内の事業者は更に3万円が支給!

コロナ対策にも全力で取り組んだ寺島のぶひさの実現力!

- コロナと戦う事業者1,000社2,000人以上の「声」を政治に届けました!
- 自衛隊の派遣要請・宿泊療養施設の早期開設で医療都市・旭川を守りました!

- 「誰もが生きがいをもちる旭川」を目指し「人生100年時代」を豊かにします!
- 高校3年生までの「医療費無償化」や0～2歳の「保育無償化」を推進します!
- 「児童手当」の18歳までの拡充、所得制限の撤廃を目指します!
- 旭川空港の更なる活用で物流・観光を応援。LCC誘致も推進します!
- 旭川と道北地域のネットワークを強化し、経済の活性化を推進します!
- 「ゼロカーボンシティ・旭川市」を全力で推進します!



北海道議会議員選挙

あたり4.9スタート

北海道

投票日に予定がある方は

期日前投票 4/1(土) ▶ 4/8(土)

お仕事、冠婚葬祭、旅行やレジャーなどのご予定があり、投票日に投票できない方は、期日前投票をしましょう。期間中、毎日受け付けています。

投票時間 / 午前8:30 ~ 午後8:00 (土・日も投票できます)

※一部の投票所で投票時間が異なる場合があります。※詳しくはお住まいの市区町村の選挙管理委員会にお問い合わせください。

投票日

4/9

投票時間

午前 7:00 ▶ 午後 8:00

※一部の投票所で投票時間が異なる場合があります。

分散投票の呼びかけ

期日前投票を利用する等、新型コロナウイルスの感染拡大防止のために、分散投票にご協力をお願いします。

特例郵便等投票

新型コロナウイルス感染症で宿泊・自宅療養等をしており、一定の要件に該当する方は特例郵便等投票が可能です。

選挙管理委員会が実施する感染症対策

- 手指消毒液の設置
- 投票所内は定期的な換気
- 全員検温の実施
- 触れる箇所は定期的に消毒

北海道選挙管理委員会

https://www.pref.hokkaido.lg.jp/hs/

道選管 検索